

Market Watching

発表日: 2020年5月25日(月)

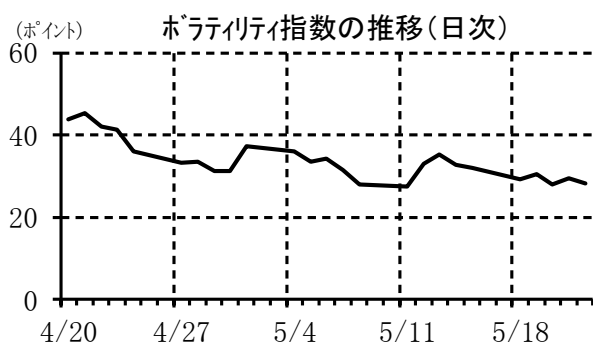
コロナ後のV字回復を前提としている市場に脆さ(マーケットウィークリー)
 ~追加の好材料不足の中で、国際情勢や政策に対する不安に躓くりスク~

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
5月18日(月)	日本: 実質GDP (1-3月速報値)	▲3.4%	▲4.5%	▲7.1%	前期比年率
5月19日(火)	インドネシア: 金融政策決定会合	4.50%	4.25%	4.50%	7日物利バースレボ金利
	ドイツ: ZEW景況感調査 (5月) ・期待指数	+51.0	+30.0	+28.2	ポイント
	米国: 住宅着工件数 (4月)	89.1	95.0	121.6	万件
5月20日(水)	日本: 機械受注統計 (3月) ・船電除く民需	▲0.7%	▲8.9%	▲2.4%	前年比
	タイ: 金融政策委員会	0.50%	0.50%	0.75%	翌日物レボ金利
5月21日(木)	日本: 貿易統計 (4月) ・輸出	▲21.9%	▲23.1%	▲11.7%	前年比
	・輸入	▲7.2%	▲13.4%	▲5.0%	前年比
	・貿易収支	▲9,304	▲5,316	+54	億円
	トルコ: 金融政策委員会	8.25%	8.25%	8.75%	1週間物レボ金利
	南ア: 金融政策委員会	3.75%	3.75%	4.25%	平均レボレート
	米国: フィットウェルリア連銀製造業景況感指数 (5月)	▲43.1	▲40.0	▲56.6	ポイント
	米国: 新規失業保険申請件数 (5/16終了週)	25,703	23,500	22,833	千件
	米国: PMI製造業景気指数 (5月)	39.8	38.0	36.1	ポイント
	PMIサービス業景気指数 (5月)	36.9	32.3	26.7	ポイント
	米国: 中古住宅販売件数 (4月)	433	435	527	万件
5月22日(金)	日本: 全国消費者物価指数 (4月) ・総合	+0.1%	+0.1%	+0.4%	前年比
	・除生鮮食品	▲0.2%	▲0.1%	+0.4%	前年比
	日本: 全国百貨店売上高 (4月) ・店舗数調整後	▲72.8%	-	▲33.4%	前年比
	英国: 小売売上高 (4月) ・除自動車燃料	▲15.2%	▲15.0%	▲3.7%	前月比
ユーロ: PMI製造業景気指数 (5月)	39.5	38.0	33.4	ポイント	
	PMIサービス業景気指数 (5月)	28.7	24.5	12.0	ポイント
5月23日(土)	-				
5月24日(日)	-				



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	0.659	+1.6	▲4.6	▲205.5	0.182	0.496	1.171
日本	-0.010	▲0.5	+0.0	+4.5	-0.015	-0.027	-0.082
ドイツ	-0.487	+4.4	▲8.0	▲40.1	-0.502	-0.475	-0.427
豪州	0.867	▲4.4	+2.6	▲76.8	0.902	0.905	1.025
株価							
NYダウ	24465.16	+3.3	+4.2	▲5.1	23950	24284	26374
日経平均	20388.16	+1.8	+6.5	▲4.2	19908	20091	21736
ユーロSTOXX50	2905.47	+4.9	+2.5	▲14.2	2875	3021	3402
上海総合	2813.77	▲1.9	▲1.1	▲2.7	2859	2867	2925
為替相場							
ドル/円	107.64	+0.5	▲0.1	▲2.5	107.19	108.09	108.32
ユーロ/円	117.34	+1.2	+0.6	▲4.6	116.42	118.10	119.29
豪ドル/円	70.36	+2.5	+3.3	▲7.3	69.23	69.04	72.16
ユーロ/ドル	1.0901	+0.7	+0.7	▲2.2	1.086	1.093	1.101
商品市況							
WTI	33.25	+13.0	+141.3	▲45.9	20.51	29.84	46.65
金	1735.5	▲1.2	+0.4	+36.2	1718	1655	1563

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (5/18~5/22) の金融市場は、引き続き欧米での感染の沈静傾向に大きな変化はない中で、景気の先行き回復に対する期待が市場を支えた。もっとも、足元の経済指標は、ロックダウン下で景気が記録的に落ち込んでいることを確認するものばかりで、先行きの回復が力強いものとなることを示唆する統計はまだ確認されていない。加えて、コロナ問題などを巡っての米中関係の悪化懸念なども一段と強まったこともあり、全般的には方向感に欠ける展開となった。

今週のマーケットは、引き続き年後半の景気動向がハッキリとは見えてこない中で、方向感に欠ける展開が続こう。今週も多くの経済指標が発表されるものの、経済活動の制限を緩和し始めた後の動きを表す統計の発表は、企業や消費者のマインド統計以外はほとんど無く、年後半の景気の回復力を測ることは難しい。これまで発表されている経済統計からは、①ロックダウン下の影響による景気の落ち込みは過去最大級で、おそらくは市場が織り込んでいた以上に厳しかったこと、②先行して経済活動がほぼ制限なく再開されている中国の経済指標からは、再開後の経済活動の回復が弱いこと——などが見て取れる。こうしたことから、欧米において感染者のピークアウトが見え始めた4月中旬以降からの、年後半の景気のV字回復的な期待は、相当程度後退しているとみていいだろう。したがって、これを覆すような材料が入手できない限り、株価で見れば上値を更新していくような展開は期待しにくい。逆に、米中の不協和音の拡大など、国際情勢や政策に対する不安の増大が、市場の新たな材料となり始めている。好材料を多く織り込み、追加の好材料が出てきにくい環境下のマーケットは、マイナス材料に過度に反応する傾向がある点には要注意だ。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
5月25日(月)	ドイツ: ifo景気動向指数 (5月)	★★	79.0	74.3	ポイント
5月26日(火)	米国: S&P500インデックス住宅価格指数・20都市 (3月)	★	+3.4%	+3.5%	前年比
	米国: FHFA住宅価格指数 (3月)	★	+0.5%	+0.7%	前月比
	米国: 消費者信頼感指数 (5月)	★★★★	87.0	86.9	ポイント
	米国: 新築住宅販売件数 (4月)	★★	50.0	62.7	万件
	米国: ダラス連銀製造業活動指数 (5月)	★	▲62.0	▲73.7	ポイント
5月27日(水)	米国: リッチモンド連銀製造業指数 (5月)	★	▲40.0	▲53.0	ポイント
5月28日(木)	ドイツ: 消費者物価・速報値 (5月)	★	+0.7%	+0.9%	前年比
	米国: 実質GDP改定値 (1-3月期)	★★	▲4.8%	▲4.8%	前期比年率
	米国: 製造業受注 (4月)・耐久財	★★	▲19.8%	▲15.3%	前月比
	米国: 新規失業保険申請件数 (5/23終了週) ・非国防資本財 (除航空機)	★★★★	▲10.0%	▲0.8%	前月比
5月29日(金)	日本: 都区部消費者物価指数 (5月)・総合 ・除生鮮食品	★	+0.1%	+0.2%	前年比
	日本: 労働力調査・失業率 (4月)	★★	▲0.2%	▲0.1%	前年比
	日本: 一般職業紹介状況・有効求人倍率 (4月)	★★	2.7%	2.5%	
	日本: 商業動態統計・小売業販売額 (4月)	★★★★	1.32倍	1.39倍	
	日本: 鉱工業生産指数 (4月)	★★★★	▲11.2%	▲4.7%	前年比
	日本: 鉱工業生産指数 (4月)	★★★★	▲5.4%	▲3.7%	前月比
	日本: 消費動向調査・消費者態度指数 (5月)	★	21.6	21.6	ポイント
	日本: 住宅着工戸数 (4月)	★	83.0	90.5	万戸
	ユーロ: 消費者物価指数速報値 (5月)・総合	★★	+0.1%	+0.4%	前年比
	ユーロ: コア	★	+0.8%	+0.9%	前年比
	インド: 実質GDP (1-3月期)	★	+0.5%	+4.7%	前年比
	ブラジル: 実質GDP (1-3月期)	★	▲0.3%	+1.7%	前年比
	米国: 個人所得支出統計 (4月)・実質個人消費 ・PCEコアフレート	★★★★	▲12.3%	▲7.3%	前月比
	米国: シカゴ地区PMI (5月)	★★	+0.5%	+1.3%	前年比
5月30日(土)	—				
5月31日(日)	中国: PMI製造業景気指数 (5月)	★★★★	51.0	50.8	ポイント

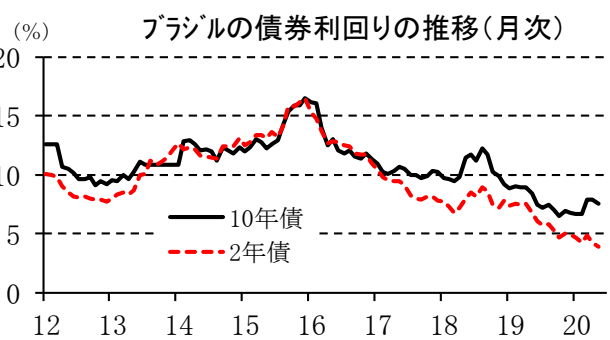
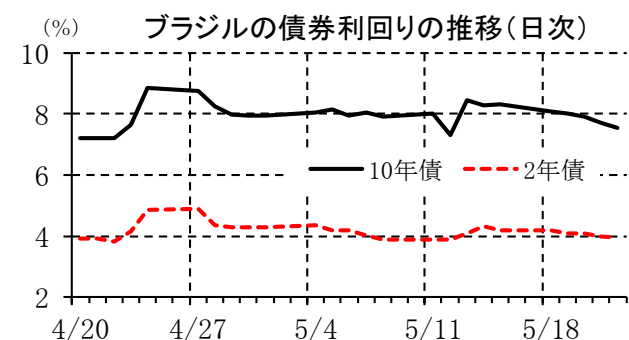
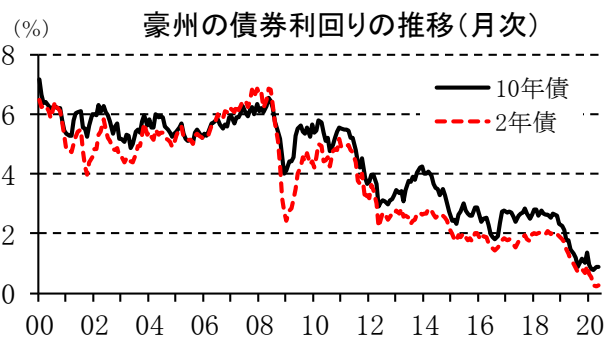
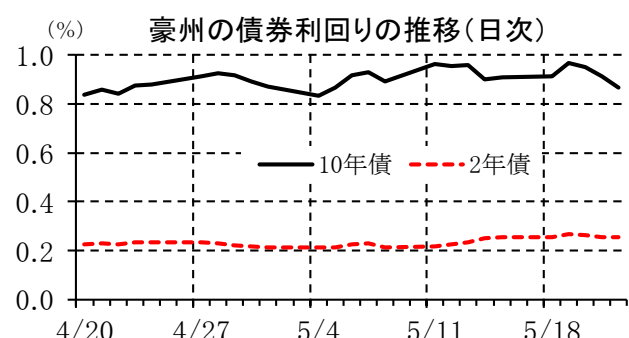
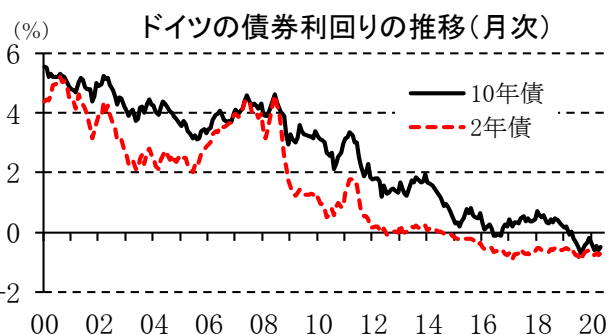
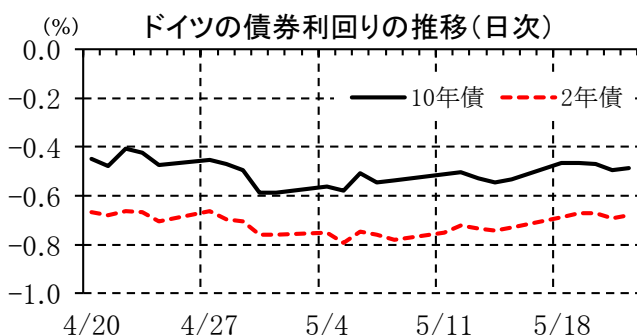
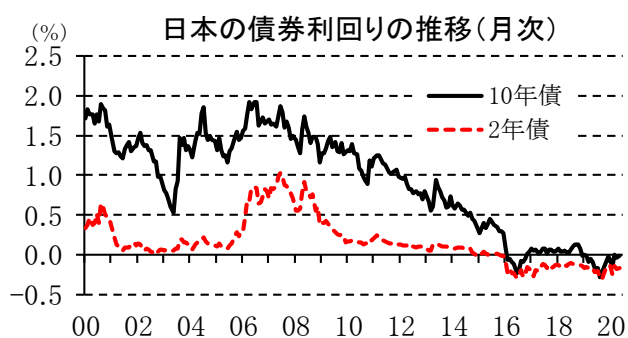
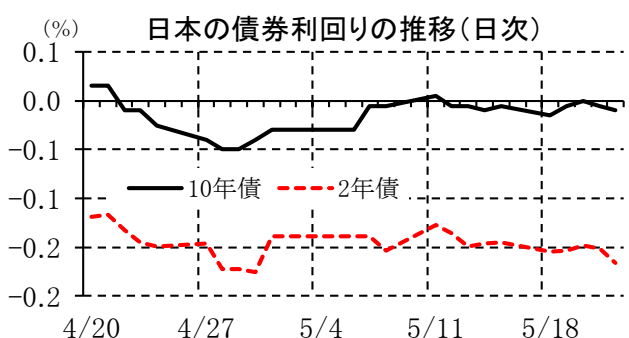
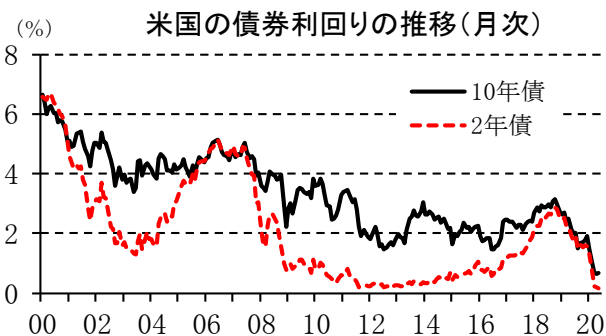
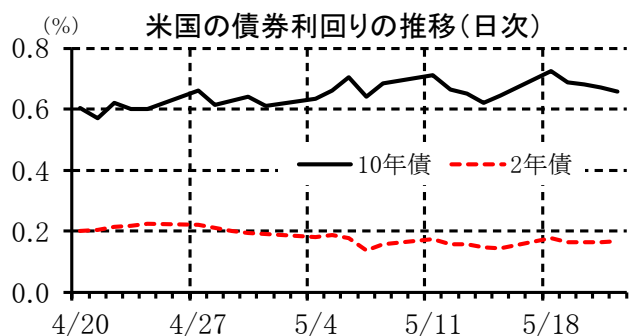
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

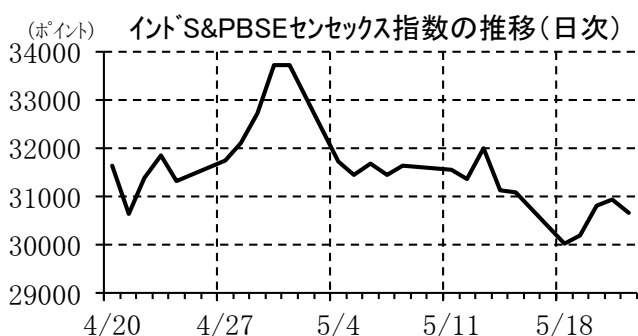
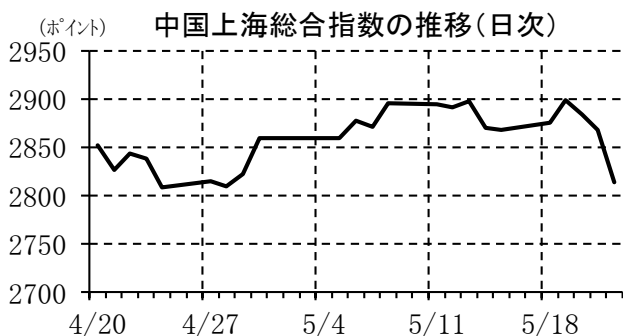
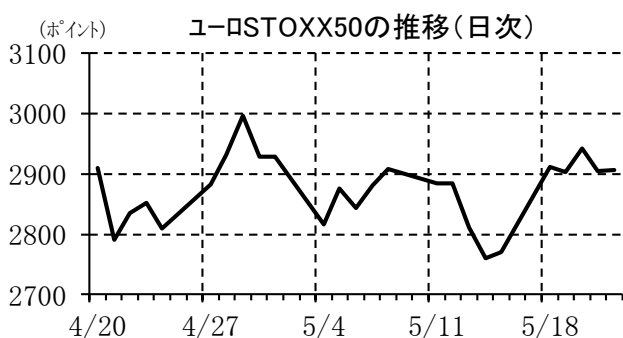
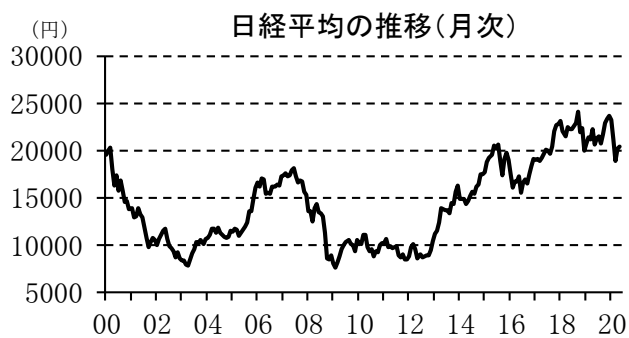
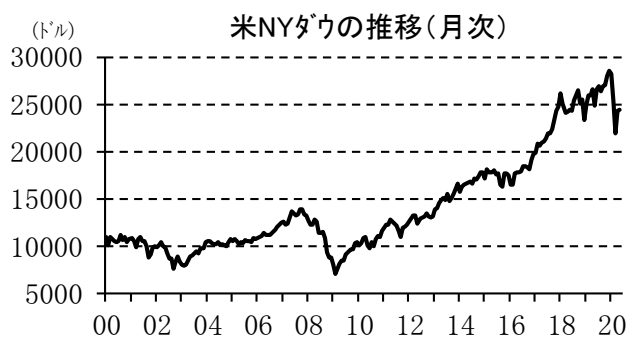
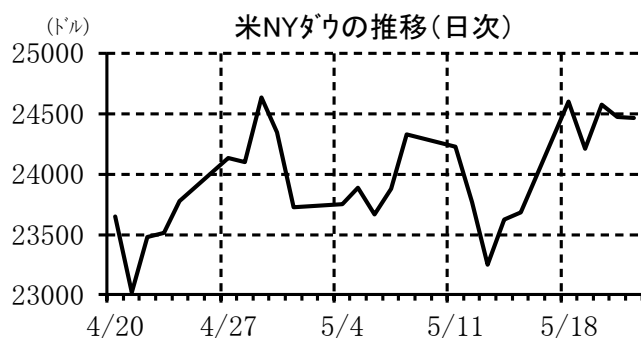
発表日	イベント	注目度	備考
5月25日(月)	米国: 休場 (英国なども)		
5月26日(火)	—		
5月27日(水)	EU: 欧州委員会、復興基金具体策提案	★	
	米国: ベンジャミン・グッド (地区連銀報告)	★★★★	
5月28日(木)	日本: 月例経済報告	★	
	米国: NY連銀総裁講演	★	
5月29日(金)	—		
5月30日(土)	—		
5月31日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

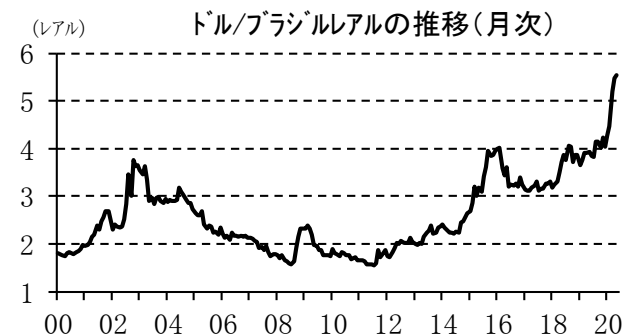
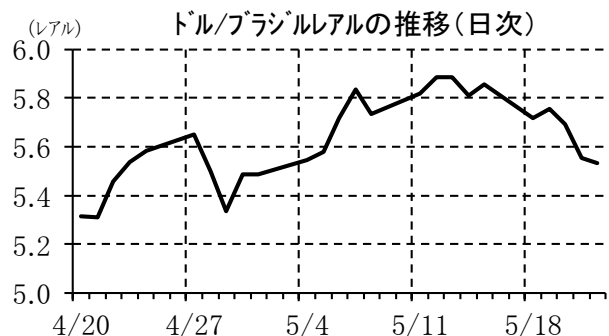
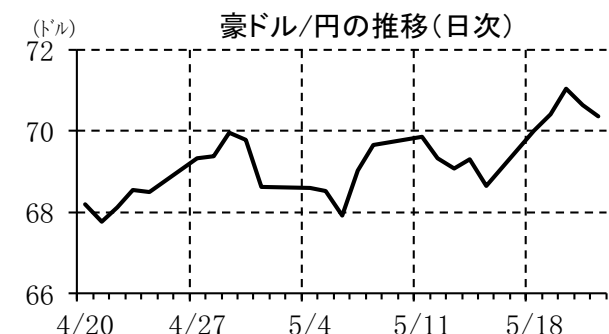
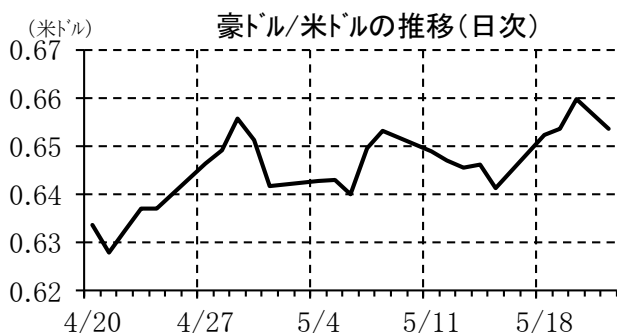
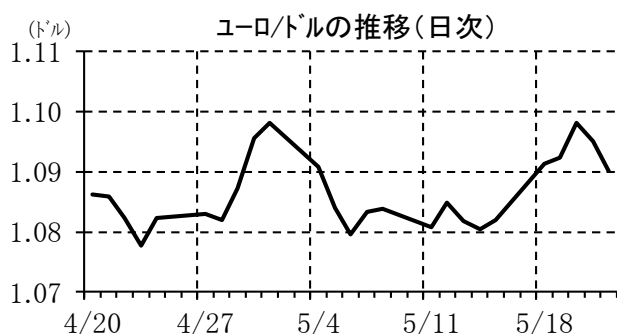
【債券利回り】



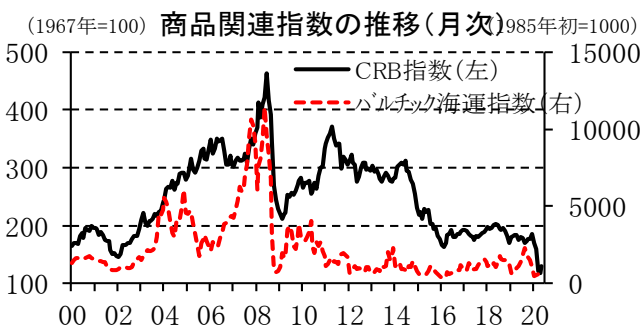
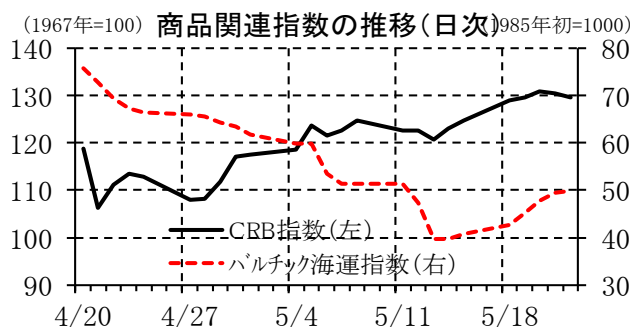
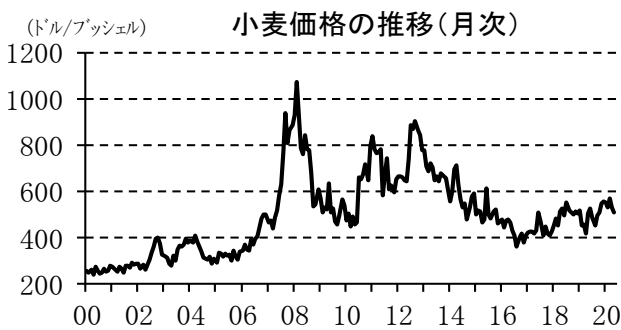
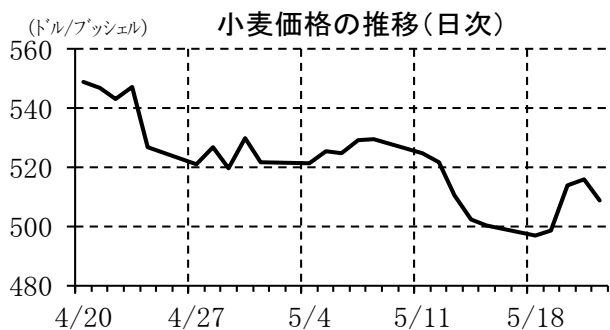
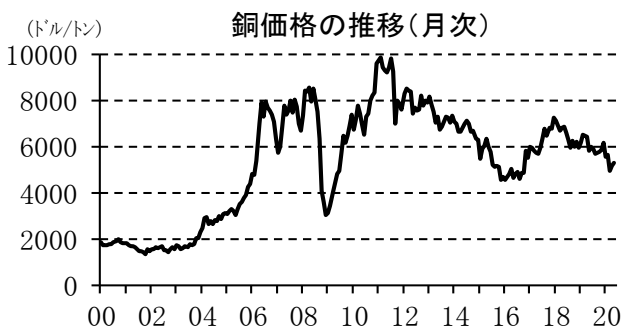
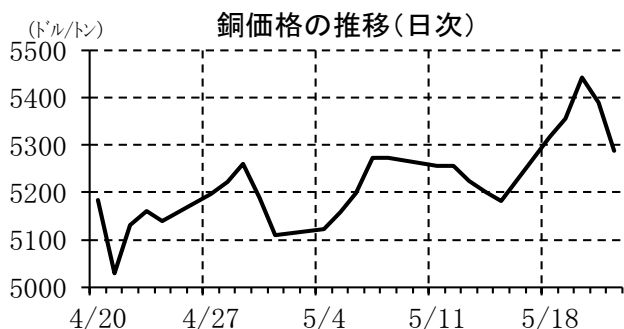
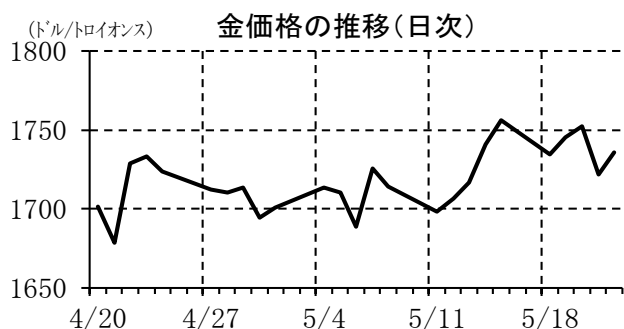
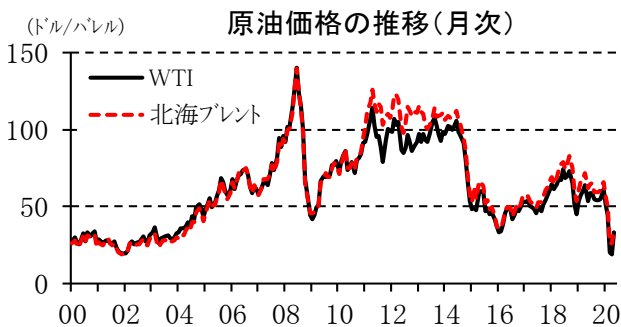
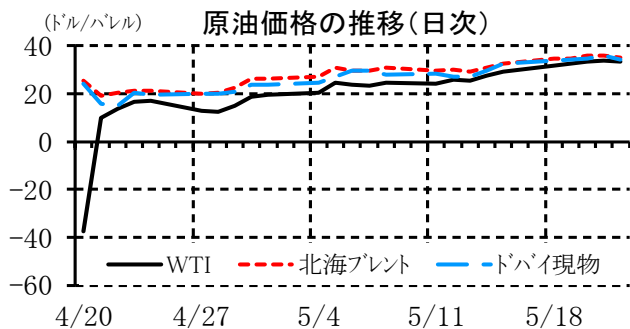
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

